

## 放送ストリーミング情報掲載

### 放送ストリーミング情報【2023No.311】(HP 掲載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：フェリックス・メンデルスゾーン

曲名：弦楽四重奏曲第 6 番へ短調 op. 80

演奏：ベルリンフィル団員

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/54520>

2023 年 5 月 21 日ベルリンフィル小ホールにおける演奏です。

ベルリンフィル団員による弦楽四重奏：追憶の音楽

19 世紀を生きた女性作曲家として、ファニー・ヘンゼルは高い評価を得ることはできませんでしたが、彼女の弦楽四重奏曲は、その非凡な才能を印象的に示しています。ベルリンフィルの若い世代の弦楽四重奏団によって、兄のフェリックス・メンデルスゾーンが若くして亡くなった最愛の妹ファニー・ヘンゼルを追悼した弦楽四重奏曲第 6 番も演奏されます。またプログラムには、喪に服すという意味が込められているプッチーニやバーバーの作品も並びます。

その他下記が演奏されました。

ジャコモ・プッチーニ 弦楽四重奏曲《菊の花》

ファニー・ヘンゼル 弦楽四重奏曲変ホ長調

サミュエル・バーバー 弦楽四重奏曲 op. 11：モルト・アダージョ

演奏のメンバーは次のとおりです。

ドリアン・ジョジ(ヴァイオリン)

ヨハンナ・ピクルメア(ヴァイオリン)

清水直子(ヴィオラ)

クリストフ・ヘーシュ(チェロ)



追憶の音楽というテーマのとおり、4 曲とも個人を偲び、祈りをささげるような静かな表情でしたが、楽章によっては深く慟哭するような速いパッセージがありまし

た。

前報(303)と前報(310)と併せてベルリンフィル団員による弦楽4重奏の演奏を聴きましたが、常設の弦楽4重奏団ではないにもかかわらず、オーケストラのメンバーの気心のしれた同士ですので、息も合い、速いパッセージでも緊張感あふれる演奏が聴けました。アンコール曲は、お馴染みのチャイコフスキーの弦楽四重奏曲第1番ニ長調 からアンダンテ・カンタービレでした。

LAN iSilencer の追加もあって、速いパッセージでもアンダンテ・カンタービレのような、ゆったりとした表現でも、弦楽四重奏の雰囲気伝えてくれています。



以上